

# 水性速乾工法 標準仕様書

## ロードライン マーキュリー ドライサポート工法

日本ライナー株式会社 標示技術部

### (1) 水性速乾工法(ロードライン マーキュリー ドライサポート)の概要

<概要・方法> ・ペイントマーカー車に追加で専用の散布装置(タンク式)を搭載するか、もしくは台車等にこの装置を設置し、塗装後にMQドライサポートを噴霧する工法である。  
・水性塗料を塗布する工程の後に、塗料表面に向け同幅でMQドライサポートを撒き、通常よりも乾燥時間を著しく早めた新工法である。

<特長> ① MQドライサポートはポリ容器で保管可能であり、管理が容易である。  
② 危険な物質を含まず、安全性のある材料であり少量でも使用可能。  
③ 乾燥硬化時間は温度に影響するが夏季で約1分と超速乾で、冬でも3~5分程度と早い。  
④ 万が一、車両が通過した際にはタイヤに付着する可能性が少なく養生期間の短縮が図れる。

<使用範囲> 路面温度 5~30℃程度 / 湿度 85%以下

### (2) 標準仕様

I <塗料>	路面標示用 水性型塗料【ロードライン マーキュリー】
II <硬化液>	専用硬化促進液【ロードラインマーキュリー ドライサポート】
<散布量>	40 g/m <sup>2</sup> を標準散布量とする。 * 施工条件により30~50g/m <sup>2</sup> の範囲内であれば可。
<装置>	推奨する専用散布装置(タンク式)にて使用する。

### <施工状況写真>



散布状況 1(マーカー車施工時)



吐出部及び散布部の状況



散布状況 2(人力施工時)



MQドライサポート散布完了